

胎内市 食育推進計画

たべる



平成 24 年 3 月

胎 内 市

目 次

第1章 計画策定の基本的事項	1
1. 計画策定の趣旨	1
2. 基本理念	2
3. 計画の位置づけ	4
4. 計画の期間	4
第2章 食をめぐる現状と課題	5
1. 食を取り巻く胎内市の現状	5
[写真]胎内市の食の風景あれこれ	20～23
2. 食を取り巻く胎内市の課題	24
第3章 胎内市が目指す食育の方向	30
1. 目的と目標	30
2. 評価指標	32
主体別の具体的施策	33
ライフステージに応じた食育の推進	35
第4章 計画の推進	37
1. 取り組むべき施策と推進体制	37
2. 計画の進行管理と評価	38
参 考 資 料	39
1. 胎内市食育推進計画策定委員名簿	39
2. 胎内市食育推進計画策定の経過	41

はじめに



胎内市では、市の総合計画の基本構想である「自然が活きる、人が輝く、交流のまち」の実現を目指して、平成22年度に胎内市健康増進計画である「健康たいない21」を市民の方々とともに策定しました。「病気へらし」と「元気ふやし」を2軸としたこの計画をもとに、市民一人ひとりが主体的、積極的に健康づくりに取り組むことで、地域に笑顔と活力が生まれ、市全体が生き生きと元気になることを重点とした保健事業を展開しております。

胎内市は山・川・海の豊かな自然に恵まれ、田園も市内全域に広がっています。その自然環境や多様な生活基盤の中で育まれた農畜産物及び水産物は、昔ながらの伝統的な食文化を築いてきました。

近年では米粉を始めとした特産品も輝きを放ち、地域には食を発掘する人、伝え広める人が大勢います。これら食を取り巻く胎内市の宝に誇りを持つことは、市民の元気につながり、ひいては市の活性化につながると考えています。

しかし、急速な少子高齢化に伴う社会的課題、地球規模での環境問題、情報化社会への急速な進展など、私たちを取り巻く社会環境は絶えず変わり続けています。そして、平成23年3月に起きた東日本大震災後の原子力発電所の放射能汚染等も食の安全性に関する重要な課題になってきました。

このたび、胎内市食育推進計画を策定するにあたって、「ふるさとの恵みに感謝！食で育む豊かなこころ 元気なからだ」を目指す姿といたしております。これまでもそれぞれの分野で様々な食育の取り組みがなされてきましたが、この機会に食育の目標を共有し、共通認識のもと市民・地域・行政・関係団体等が連携して目指す姿に向かってまい進していきたいと考えております。

関係機関、幼保育園、小中学校、高校、地区組織や地域の皆様の食育に込める熱い思い、また、策定委員会の皆様の熱意に支えられてこの計画を完成させることができましたことを、心より感謝申し上げます。

この計画を推進し、「食育」を通じて胎内市がますます元気になれるよう取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年3月

胎内市長 吉田和夫